



2024年6月18日

各位

会社名 株式会社RS Technologies
代表者名 代表取締役社長 方 永義
コード番号 3445 東証プライム市場
問合せ先 経営企画室長 田渕 勝也
電話 03-5709-7685

2024年12月期第1四半期 決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、2024年5月13日に発表いたしました2024年12月期第1四半期決算に関して、アナリスト・機関投資家の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。

なお、投資家の皆様により当社をご理解いただけるよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1：ウェーハ再生事業における1Qの三本木工場及び台南工場の稼働率はいかがでしたか。

A1：両工場とも、稼働率は100%でございました。2Q以降も同様に稼働していく想定です。

Q2：プライムウェーハ事業の1Qが、2023年4Q比で増収増益となった要因を教えてください。

A2：1Qでは、中国大手のEVメーカーからの受注量が増加傾向にあったこと及び高単価のプライムウェーハのスポット案件があったことが、収益改善に影響いたしました。中国における8インチプライムウェーハの市況環境は、下期から本格回復すると予想しております。

Q3：半導体関連装置・部材等事業の1Qが、2023年4Q比で大幅に増収した背景を教えてください。

A3：主な要因の一つとして、一過性の大口案件（バルクセール）により売上高は増加しましたが、利益率は低下いたしました。バルクセールでは、日本の工場の中古半導体製造ライン一式の入札会に応札したものです。それを海外に販売いたしました。

また、市況環境を鑑みた期初の想定どおり、子会社の株式会社DG Technologiesの利益貢献は、為替の影響もあり僅かとなりました。2Q以降の収益は、市況環境回復に伴い徐々に増加する想定です。

Q 4：今後注力する事業を教えてください。

A 4：既存の半導体事業に加え、事業規模拡大を目指すために、中期経営計画アップサイドプランのM&Aや再生可能エネルギー事業にも注力してまいります。

Q 5：中期経営計画アップサイドプランにて発表された再生可能エネルギー事業2024年計画の売上高10億円の達成確度はいかがでしょうか。

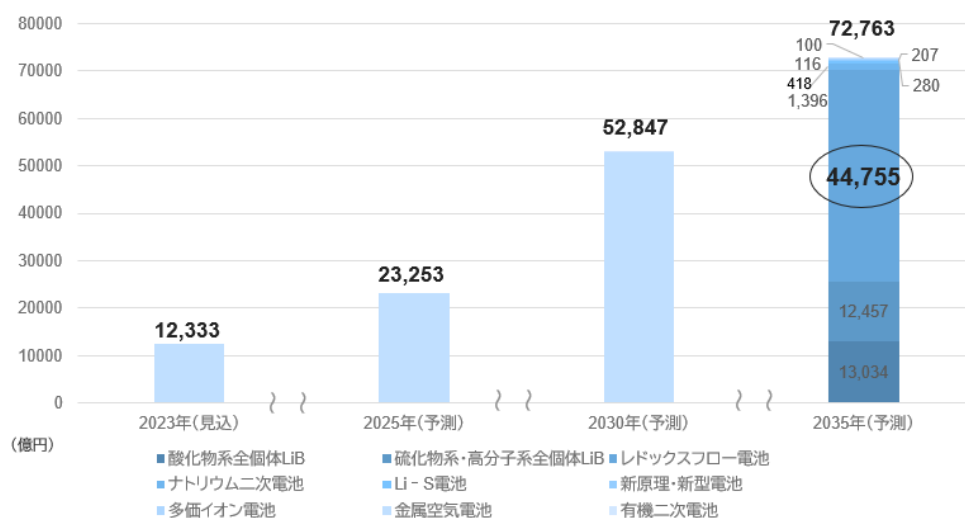
A 5：LEシステムでは、すでにVRFB電解液の受注を獲得し、現在出荷の準備を整えております。その他、海外を中心とした各地の企業様との交渉は始まっておりますので、達成のために営業活動にも力を入れております。

また、2024年5月20日に株式会社矢野経済研究所から発表された「次世代電池世界市場に関する調査(2024年)」では、2035年のレドックスフロー電池の世界市場規模は4.4兆円を超えると予測されており、市場拡大が加速していることが分かります。

矢野経済研究所公開「次世代電池世界市場規模予測」



・2024年5月20日矢野経済研究所の調査データによると、2035年のレドックスフロー電池の市場規模は4.4兆円を超える



※出典：株式会社矢野経済研究所「次世代電池世界市場に関する調査(2024年)」(2024年5月20日発表)

※注1. メーカー出荷額ベース 注2. 酸化物系全個体LiBには、固体電解質に電解液やゲルポリマーを添加した半固体電池を含む

注3. 2023年は見込値、2025年、2030年、2035年は予測値

COPYRIGHT © RS TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

すでに市場は出来ているため、現在は投資によりシェアを獲得していくフェーズであると考えております。当社は、2026年までに生産キャパ増加のための投資を行い、旺盛な需要を取り込む計画でございます。なお、具体的な投資計画については、様々な方法を検討している段階でございますので、決定次第速やかに開示いたします。

Q 6 : 2024年5月13日に「配当予想のお知らせ」にて増配を発表した理由を教えてください。

A 6 : 株主還元として、増配を継続したいという当社の意向は以前より変わりありません。
2023年12月期までは、四半期決算発表の際に配当予想を開示していませんでしたが、株主の皆様からのご要望を受け、当期より開示をしております。

Q 7 : 2024年5月31日開示の「ヘリオス テクノ ホールディング株式会社の株式に対する 公開買付けの開始に関するお知らせ」について、TOB価格を上回る株価で同社の株価が推移していますが、現状をどのように評価されていますでしょうか。

A 7 : 公開買付け届出書に記載のとおり、825円は当社として提案可能な最大限の価格で、公開買付者として対象会社の一般株主様の利益を最大限配慮した価格であると考えているため、TOB価格の引き上げは考えておりません。

<ご参考資料>

2024年12月期第1四半期 決算説明資料

<https://contents.xj->

[storage.jp/xcontents/AS02916/0086269f/79e3/4b35/ad80/5fd7d5cb64d5/140120240513593051.pdf](https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02916/0086269f/79e3/4b35/ad80/5fd7d5cb64d5/140120240513593051.pdf)

以上